



錦乃通信

Mamiya J.H.S. School News

令和8年8月26日(水)

さいたま市立馬宮中学校

令和8年度 第5号

学校教育目標

未来を拓け ～自己の創造・生きる自信～

SINCE 1947

School Education Goal

Open your Future ～Self Creation ・ Confidence to live～

「歴史を受け継ぎ、仲間と創る2学期」

校長 衛 藤 伸 介

厳しい残暑が続いておりますが、日暮れの時刻が日ごとに早まることで季節の移ろいを感じます。こうした中、生徒たちの表情からは夏休みを終えた新たな学期への期待が感じられます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かい御支援を賜り、心より感謝申し上げます。皆さまの御理解と御協力が、日々の学校運営を支え、生徒たちの学びを豊かにしてくださっていることを改めて深く実感しております。

夏休みが終わり、生徒たちが元気に登校してくる姿とともに、学校にも再び活気が戻ってまいりました。友だちとの再会を喜び合う笑顔や教室に響く明るい声が、学校という場が生徒にとってかけがえのない居場所であることを示しています。夏休み中にそれぞれの家庭で過ごした経験や、地域の行事に参加した体験は、生徒たちの視野を広げ、2学期の学びに新たな刺激をもたらしてくれることでしょう。

2学期は、合唱コンクールや学年ごとの校外学習を始め、年間の中でも特に行事が多く、生徒たちが仲間と力を合わせて挑戦する機会が豊富にあります。行事は単なる「イベント」ではなく、学級・学年・学校全体が一つの目標に向かって動き出す大切な教育活動です。生徒たちは、役割を果たす責任感、仲間と協働する姿勢、困難に向き合う粘り強さ、そして達成したときの喜びを味わうことで、教室だけでは得られない学びを積み重ねていきます。準備の過程で悩んだり、思うように進まないことがあったりするかもしれませんが、その経験こそが生徒たちを大きく成長させます。行事を通して得た学びは、必ず授業や日常生活にもよい影響を与えます。

また今年度は、本校が創立80周年という大きな節目となります。80年という長い歴史の中で、本校は地域の皆様に支えられ、多くの卒業生を送り出してまいりました。今学期に実施予定の記念行事は、本校のこれまでの歩みを振り返り、未来へつなぐ大切な機会となります。生徒たちにとっても、自分たちの学校がどのような歴史を刻んできたのかを知り、地域とのつながりを実感し、記念行事を自分たちの力で創り上げるという、かけがえのない経験となります。学校としても、80周年にふさわしい行事となるよう、教職員一同で準備を進めております。保護者や地域の皆様にも御協力をお願いする場面があるかと存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。

行事が続く時期だからこそ、学習面の積み重ねも大切になります。行事で培った集中力や協働性は、授業への姿勢をより前向きにし、学習の質を高めます。2学期は「学習と行事の両輪」で生徒たちが大きく伸びる学期です。特に、夏休みの学習の振り返りや、2学期の目標設定を丁寧に行うことで、生徒たちは自分の学習に主体的に向き合う姿勢を育んでいきます。学校としても、授業改善や学習支援の充実を図り、生徒一人ひとりが「わかる・できる」喜びを実感できるよう努めてまいります。

最後になりますが、夏休み明けは、生活リズムが整うまで時間がかかることがあります。疲れが出たり、気持ちが揺れたりすることもあります。学校として生徒にしっかり寄り添い、安心して学校生活を送れるよう支援してまいります。御家庭におかれましては、生活リズムの再確認、行事や学習への励まし、気になる様子があれば早めの相談など、引き続きお子様への温かい見守りをお願いできれば幸いです。